

[¹⁸F]PM-PBB3 PET検査を受けた皆様へ（臨床研究に関する情報）

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂く必要があります。

量子科学技術研究開発機構 放医研では、以下の臨床研究を臨床研究法に基づく特定臨床研究として実施しております。この臨床研究は、本研究とは別途に実施された別の臨床研究のデータも合わせて解析します。そのため、研究内容の情報を公開し、ご自身のデータを使ってほしくない方からのお申し出や問合せを受け付けております。

[研究課題名] 脳内タウイメージング製剤[¹⁸F]PM-PBB3の鏡像異性体間での差異に関する研究

(実施期間: 許可日～2022年3月31日) <https://jrct.niph.go.jp/>

[まとめてデータを解析する対象となる別途に実施された臨床研究]

- ① 放射性リガンド[¹⁸F]PM-PBB3の脳内タウイメージング製剤としての有効性及び安全性に関する研究
- ② [¹⁸F]PM-PBB3を用いた神経変性疾患におけるタウ蛋白病変と臨床症状の関連性についての研究
- ③ 脳内タウPETイメージングを用いた統合失調症と前頭側頭型認知症の共通病態の同定に関する研究
- ④ 脳内ホスホジエステラーゼ10Aおよび脳内タウのイメージングによる双極性障害の背景病態に関するPET 研究

[研究機関] 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

[研究責任医師] 高堂 裕平

[研究の目的]

脳内タウイメージング製剤[¹⁸F]PM-PBB3鏡像異性体間の差異を明らかにすることにより、詳細な脳内タウ蛋白病変のイメージングが可能とし、今後神経変性疾患におけるタウ蛋白病変を標的とした新規薬剤の開発などの実臨床への応用が期待されます。」

[研究の方法]

- 対象となる研究対象者さん
放射線医学総合研究所にて2019年7月31日までに[¹⁸F]PM-PBB3 PET検査を行われた方
- 利用する研究情報
別途実施済みの研究データを使用しますので、新たな質問や検査の必要はありません。
年齢、性別、今までの病気の経過、診察所見
検査所見(心理検査結果、採血結果、MRI画像、[¹¹C]PiB画像、[¹⁸F]PM-PBB3画像)

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、住所など個人を直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の研究記録を使用されることを辞退したい方は、2020年4月30日までに下記[問い合わせ先:窓口]にお申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになったとしても、なんらかの不利益を受けることはありません。いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記[問い合わせ先:窓口]にお申し出ください。ただし、期日を過ぎてデータが解析でまとめられてしまった後等には取り除くことができない場合があります。

[問い合わせ先: 窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

量研機構量子医学・医療部門QST病院臨床研究支援室

電話: 043-206-4713 平日: 9:00 ~ 17:00